

世界の子どもの本展

—国際アンデルセン賞と IBBY オナーリスト—

開 催 者 募 集

JBBYは、今年も「世界の子どもの本展」を巡回します！

この図書展は、IBBYオナーリストに選ばれた世界の優れた児童書と国際アンデルセン賞受賞者の作品を展示するものです。その規模は、世界約60の国と地域から約200冊！本を通して世界をめぐる旅を楽しみませんか？様々な国で暮らす子どもたちに想いを寄せる機会として、ぜひご活用いただけましたら幸いです。

対 象

図書館・学校他、展示会場を用意可能で、責任をもって開催できる方ならどなたでも（有志の個人・グループでも開催可能です）

巡回セット内容

展示本（約200冊）のほか、1冊ごとの作品紹介カード、解説パネル、日本語版／英語版カタログ（閲覧用）など
（※展示本は、2年ごとに内容が変わります）

貸 出 条 件

*貸出期間：1会場2週間以内を原則とする（※搬出入日を除く）
*費用：展示分担金 80,000円（+消費税）
　　送料実費 往復3万円程度（発送地域による）
※その他、展示にかかる費用は開催者負担

詳細・お問合せ

JBByウェブサイトをご覧ください。
<https://jbbby.org/exhibition-of-children-of-the-world>
開催レポートも掲載しています。



★ご不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。



〔お問合せ〕一般社団法人 日本国際児童図書評議会（JBBy）

「世界の子どもの本展」実行委員会（JBBy事務局内）

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル

Tel:03-6273-7703 Fax:03-6273-7708 E-mail:honten@jbbby.org <https://jbbby.org/>



IBBYオナーリスト (IBBY Honour List)

国際児童図書評議会（IBBY）が1956年に創設した世界の優れた子どもの本を集めたリストで、当初は優良賞と呼ばれていました。1980年に「IBBYオナーリスト」と名称をあらため、以来、世界に向けて隔年で発信されています。

現在は、文学作品・イラストレーション作品・翻訳作品の3部門からなり、IBBY支部が、世界の子どもたちに読んでほしいと願う、それぞれの国の特徴を持つ最も優れた作品を紹介しています。

2024年版は、59の国と地域から52言語184作品が推薦されました。日本からは、文学作品に安東みきえさんの『夜叉神川』（講談社）、イラストレーション作品にたじまゆきひこさんの『なきむしせいとく沖縄戦にまきこまれた少年の物語』（童心社）、翻訳作品に宇野和美さんの『見知らぬ友』（原作：マルセロ・ビルマヘル/福音館書店）を選びました。

日本国際児童図書評議会（JBBY）は、世界の子どもの本が、世界への架け橋になると信じ、子どもたちや子どもの本に関心を持つ人たちに、直接手にとってご覧いただけるよう、IBBYオナーリストの全作品を国内で巡回しています。



国際アンデルセン賞 (Hans Christian Andersen Awards)

1953年に国際児童図書評議会（IBBY）が創設した、2年に1度選ばれる子どもの本の国際的な賞です。その選考水準の高さから、「小さなノーベル賞（A Little Nobel Prize）」とも呼ばれ、世界の児童文学に大きな影響を与えています。

受賞者は、IBBY支部が推薦した候補者の中から、国際選考委員会によって選ばれます。

2024年は、作家賞をオーストリアのハインツ・ヤニッシュさん、画家賞をカナダのシドニー・スミスさんが受賞しました。

開催会場の様子

光塩女子学院 中等科・高等科



国際交流基金本部オフィス



生駒駅前図書室



大阪府立中央図書館 国際児童文学館



小淵沢 旧バウハウス



諫早市立諫早図書館



一般社団法人 日本国際児童図書評議会（JBBY）

国際児童図書評議会（IBBY）の日本支部として1974年に設立されて以来、「子ども・本・平和」をキーワードに活動を続けています。JBBYにはどなたでも入会できます。詳しくはJBBY事務局までおたずねください。